

の街路樹

『みどりのまち』の立役者!!



街路樹に
よく学び
よう！
でて

市が管理する街路樹は、168路線(延長57km)に、ケヤキやハナミズキなどの高木・中木が約8,000本植栽されています。市では、景観形成や環境保全に大きな役割を果たす街路樹を守り、適正な管理を行えるように取り組んでいます。

どんな役割があるの？

◆ **景観形成**

道路景観におけるシンボルや背景となるなど、景観を構成する主要な要素で、街並みに印象や季節感を与えます。

維持や管理の方法は？

◆ **快適な生活空間の創出**

自動車騒音やヒートアイランド現象を緩和したり、雨水を一時的に枝葉や植栽地に蓄えることで都市の生活環境の向上に貢献します。また、被害拡大が懸念される災害時は、街路樹が延焼を防止し、避難路を確保するという重要な役割も果たします。

◆ **景観形成**

道路景観におけるシンボルや背景となるなど、景観を構成する主要な要素で、街並みに印象や季節感を与えます。

◆ **快適な生活空間の創出**

自動車騒音やヒートアイランド現象を緩和したり、雨水を一時的に枝葉や植栽地に蓄えることで都市の生活環境の向上に貢献します。また、被害拡大が懸念される災害時は、街路樹が延焼を防止し、避難路を確保するという重要な役割も果たします。

街路樹の目的や機能を十分に発揮するには、さまざまな手入れを行っていくことが必要です。限られた道路空間の中で健全な街路樹の育成管理が不可欠となりますので、主に次のような維持管理を行っています。

◆ **害虫対策**

街路樹は天候などによって、害虫が異常に発生することがあるため、害虫が発生した初期の段階で薬剤散布を実施しています。

◆ **落ち葉清掃**

通常の落ち葉清掃以外にも市職員の有志で職務時間外に落ち葉清掃を行っています。

◆ **刈り込み**

歩道や中央分離帯に低木が植栽してありますが、これら低木は道路に華やかな印象を与えるため、主に花の咲くツツジやサツキなどの種類が多く植えられています。伸びすぎた枝が歩行者、車の通行に支障を及ぼすため、花芽がつく時期に注意して、6月ごろに樹形を整えます。交差点付近や見通しの悪い箇所については、樹高を低く刈り込んでいます。

◆ **除草**

植樹帯や植樹ますに生える雑草は、美観や周辺環境を良好に保つために除草を行います。6月・10月ごろに行っています。

安全対策は？

◆ **診断の方法**

街路樹診断は、樹木医の目視などによる外観診断とガンマ線樹木腐朽診断器などによる精密診断を総合的に分析し、樹木内部の腐りや空洞の程度を把握します。



▲市職員の有志による活動



▲空洞化した樹木の断面写真



▲ガンマ線樹木腐朽診断器

◆ **診断後の処置**

外観診断および精密診断の結果に基づいて、倒木の恐れがある樹木は、伐採など適切な処置を実施します。

◆ **空洞化のサイン**

ベッコウタケは樹木の空洞化のサインです。倒木の恐れがありますので、発見した場合は道路維持課までご連絡ください。



▲ベッコウタケ